



1. 遅い判決
2. “なまず” 大いにあばれる？
3. 不思議な道路

1. 吹田事件公判，八海事件公判……。この真相究明はむずかしく，法律解釈は慎重を要することはわかって，なぜこれだけの期間を要するのか。2つのノーモアヒロシマ大会，南北分割国家，東西分裂国家，……時事解説を読んでもわかったようなわからないような。はっきりしていることは，裁判は長くかかるべきでない，日常生活の悲劇を避けるためには国家が分裂すべきでない，ということだけである。身近なところを見渡してみても，せっかく郵便番号を記入しても処理する機械があるわけではなく，1円安くなるわけでもない。完成後やがて赤字のため撤去される公算の大きい鉄道路線を新設中であったり，災害の跡がいっさい改良されずに旧に復されたりされている。

当時者以外から見れば合点のいかないことがなんと多いことか。ところがそれらは，当時者の非常に真剣かつけんけんごうごうたる論議の末に決まるのだから仕末に悪い。われわれは，日頃多忙で一生懸命やっているために，かえって落し穴にはまり込んでいることはないであろうか。門外漢の眼が必ずしも正しいとはいわないが，土木工学関係者以外からどんどん批判してもらわなければならないと思う。少しぐらい仕事を disturb されることはあっても，最終的にはうるところが多いであろう。 [S]

2. 9月1日は防災の日である。これは大正12年9月1日の関東大震災を記念して設定されたものである。地震国日本は地下の超大なエネルギーの放出としてもたらされる災害から幾多の物的・人的被害を受けてきた。5月に発生した十勝沖地震もまだ耳新しいことであるが，9月1日にまたイランで大地震が発生し，死者が2万人を越す大被害をこうむっている。今や世界中が動いているような錯覚をおぼえる。災害を受けた人々を思うとまったく言葉でいい表わせぬものを感じる。わが国でも最近では本格的に地震対策に乗り出してきていることは喜ばしいことであるが，ひとたび地震の発生による不特定多数の人的物的災害を思うとき，地震工学の研究の一段の進歩が痛感される。そして本当に研究を充実するために基本的の方策をしっかりと確立し，国策として一層おし進めてもらいたいものだとつねづね考えている。 [J]

3. 8月18日未明，おりからの豪雨について乗鞍にのぼろうとしたバスハイクループのうち2台が，山くずれに襲われ，飛騨川の激流の中に突き落され101名の死亡という悲劇をもたらした。事故発生以来すでに20日を数えんとする今日に至っても，死亡者の半数以上はまだ行方不明という事実は，事故発生当時の悲しむべき状況を伝えて余りあるものがある。一日も早く，御霊が救われんことをただ祈るばかりである。話は少しとぶが，今回のこの事件ほど多方面の関係者にいろいろなことを考えさせたことは近時なかったのではなからうか。今日まだ遺族への補償主体すら明らかにならないところをみるにつけても，素人判断ではどうしようもないむずかしい問題が数々あるようではある。まず，事故発生場所が国道41号線上であったことから，国道の主務官庁たる建設省中部地建道路部長が早速テレビジョンに引張り出され，はたまた東京では道路局長もいろいろと質問せめに合った。しかし，現在定められている基準にしたがって道路をつくり，保守をしてきたこと自体に落度がないだけに担当官としても1個人としてはいいこともあろうが，職責上は何とも後味の悪い答弁しかできなかったことではあろう。その他気象庁，バス会社，主催者側，おのおのその場その場でのいい分もあり，大変ではあろうが，101人の犠牲はあまりにも大きすぎる。この事件の後であったかA紙のコラム欄にソビエトの特異な道路の話が出ていた。急坂の曲り道のところに，本線とは異なる道が逆勾配をとってスーと1本延びていて，ある所まで行くと林の中に消えている不思議な道路のことである。由来は，過去にブレーキを故障させた車が事故を起したので，再発したときに自動車を，そして乗員を救うためにつくったとのことであった。ただし，その後この事故救済道路が利用されたことはないということであった。——この雄大な，ともいべき見識には日頃いかに安く，強いものをつくるかに腐心しているわが国の土木技術者にはいさかどぎもを抜かれる思いがするであろうが，何か非常に大切なものを教えてくれているような気がして，忘れようにも忘れられない。今回の事件——道路における安全度の考えかたという面のみをとり上げて考えてみた場合，この余りにもかけるはなれすぎているこの両者のものの考えかたの差を如何様に理解したらよいか，途方にくれる話ではある，これを機会に，土木技術は日頃“人間の存在を意識しない”といわれる面を謙虚に反省してより愛される技術集団として多くの人々につかえたいと考えるが，いかがであろうか。 [E]